

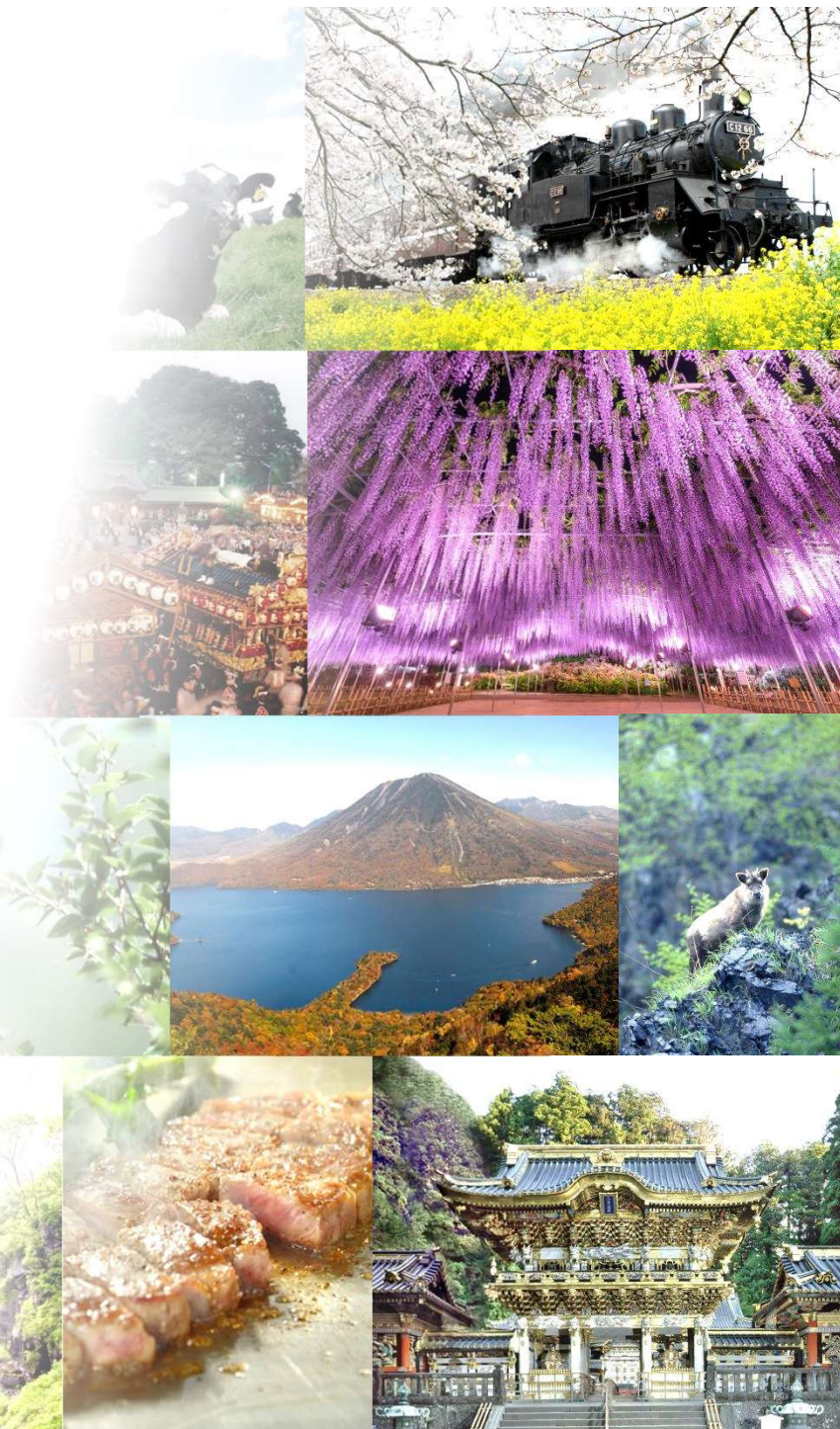
栃木県の財政状況

令和2年9月



本物の出会い 栃木

Discover your Tochigi



栃木県の概要



栃木県の概要

面積	6,408km ² 〈関東最大〉
人口	1,934,188 (R2(2020).6.1現在) 〈全国18位〉
市町村数	14市11町 (R2(2020).9.1現在)
1人当たり県民所得	3,318千円 (H28(2016)年度) 〈全国3位〉
県内総生産に占める 製造業の割合	39.7% (H28(2016)年度) 〈全国2位〉
農業産出額	2,871億円 (H30(2018)年度) 〈全国9位〉



地理的特徴

- 県内は、日光国立公園、尾瀬国立公園などの山岳部と鬼怒川・那珂川などの沿岸平野部に大別され、**豊富な水源**を有する
- **アクセス良好**
 - **東京まで新幹線で約50分、仙台まで新幹線で約70分**
 - 東北道・北関東道に加え、圏央道の利用で、国内各地・空港へスムーズな移動が可能

気候面の特徴

- **大規模な自然災害が比較的少ない**
- 寒暖の差が35.6℃と大きく(全国9位)、**はっきりした四季を楽しむ**

とちぎの農業



地域性豊かな農業生産を展開し、農業産出額は全国9位(平成30(2018)年)



半世紀以上にわたり
いちご生産量日本一



スカイベリー



宇都宮餃子
※ニラの生産量全国2位
(H30(2018)年)



“そばどころ”とちぎ
※産出額全国3位、生産量全国4位
(H30(2018)年)

■その他

- 【第1位】かんぴょう、もやし、うど、麻
- 【第2位】二条大麦、生乳、こんにゃく芋
- 【第3位】日本なし、六条大麦、アユ(漁獲量)



とちぎ和牛



ブランド梨「にっこり」



かんぴょう

とちぎは首都圏の“食のオアシス” (首都圏の食料供給基地)

“ものづくり県”とちぎ



多様な工業製品を生み出す“ものづくり県”

■ MADE IN とちぎ

- 大手企業の生産拠点や技術力の高い中小企業が集積
- **製造品出荷額等は全国12位(平成29(2017)年)**
- **県内総生産に占める製造業の割合は全国2位(平成28(2016)年度)**
- **出荷額全国1位の工業製品(平成29(2017)年)**
 - 硬質プラスチック発泡製品(厚板)
 - 光学レンズ
 - 砕石
 - シャッター
 - 工業用長さ計
 - 歯科用機械器具・同装置
 - カメラ用交換レンズ



■ 優れた伝統の技～とちぎの伝統工芸品～

- **結城袖(ユネスコ無形文化遺産、国指定伝統工芸品)**
 - 栃木県を代表する絹織物で小山市や下野市等を中心に製造
 - 昭和31(1956)年に国の重要無形文化財に指定、平成22(2010)年11月に本県で初めてユネスコ無形文化遺産に登録
- **益子焼(国指定伝統工芸品)**
- その他、烏山手すき和紙、日光彫、真岡木綿、鹿沼組子、間々田紐、天明鋳物 など



結城袖



益子焼

歴史・文化、観光資源



豊富な文化遺産や伝統芸能、観光資源を有する

都道府県指定文化財等件数: 全国3位



日光東照宮



日光杉並木街道



下野薬師寺



足利学校



中禅寺湖畔“国際避暑地”



華厳滝



日光国立公園



烏山の山あげ
行事(7月)



鹿沼今宮神社祭の
屋台行事(10月)

観光客数の推移

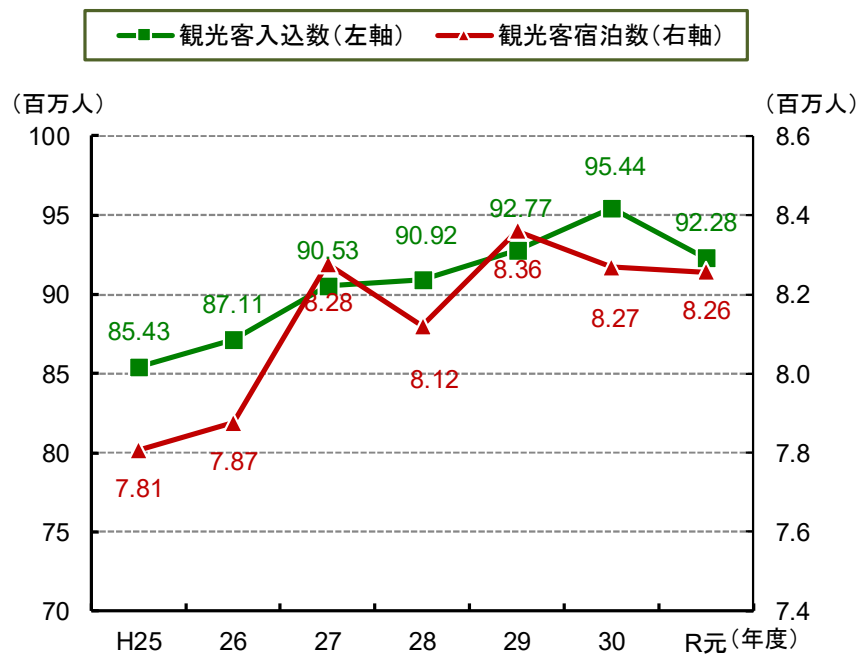


令和元年の観光客入込数は増加傾向にあり、外国人宿泊数は過去最高を更新

■ 堅調な観光者数

令和元(2019)年の観光客入込数は増加傾向にあり、外国人宿泊数は過去最高を更新

- ▶ 観光客入込数:9,228.2万人(対前年比96.7%)
- ▶ 外国人宿泊数:24.7万人(対前年比110.8%)



本物の出会い 栃木

Discover your Tochigi

新型コロナウイルス感染症への対応



新型コロナウイルス感染症対応予算総額 約1,380億円

■ 令和2年度6月補正(2)までの新型コロナウイルス感染症対応予算総額 約1,380億円



- 財源内訳: 国庫補助金※ 約513億円 諸収入 約809億円 その他 約10億円
一般財源 約48億円(うち寄附金5億円、繰越金11億円、財政調整基金取崩し32億円)

※「新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金」や「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」等を活用

■ 財政調整的基金の令和2年度末現在高見込み 420億円

新型コロナウイルス感染症への対応②



3月補正予算:81億円

- 検査・医療提供体制の強化:2億円
- 感染拡大防止対策と学校の臨時休業等への対応:9億円
- 事業活動の縮小や雇用への対応:67億円
- 県民に向けた観光や消費の需要喚起の推進:3億円

6月補正予算:71億円

- 感染拡大防止に向けた取組:48億円
- 社会経済活動の本格化に向けた取組:23億

4月補正予算:249億円

- 緊急事態宣言への対応:31億円
- 緊急支援フェーズにおける取組:200億円
- V字回復フェーズを見据えた取組:13億円

6月補正予算(2):979億円

- 感染の再拡大に備えた取組:48億円
- 社会経済活動の本格化に向けた取組:627億

令和元(2019)年度決算に基づく健全化判断比率等



すべての指標で基準を大きく下回り、健全な財政状況

前年度に比べ、実質公債費比率は0.3ポイント改善

指標名	対象範囲	本県	財政健全化法	
			早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
1 実質赤字比率	一般会計等 (※1)	(赤字なし)	3.75%以上	5%以上
2 連結実質赤字比率	一般会計等 公営事業会計	(赤字なし)	8.75%以上	15%以上
3 実質公債費比率	一般会計等 公営企業会計	9.8% 〈全国14位〉	25%以上	35%以上
4 将来負担比率	一般会計等 公営事業会計 一部事務組合 地方公社 第三セクター等	103.4% 〈全国3位〉	400%以上	
5 資金不足比率	公営企業会計	(資金不足なし)	20%以上	

※1 一般会計等には、本県では8特別会計(公債管理、県営林事業、林業・木材産業改善資金貸付事業、地方独立行政法人県立病院貸付金、母子父子寡婦福祉資金貸付事業、心身障害者扶養共済事業、小規模企業者等設備資金貸付事業、就農支援資金貸付事業)が含まれる。

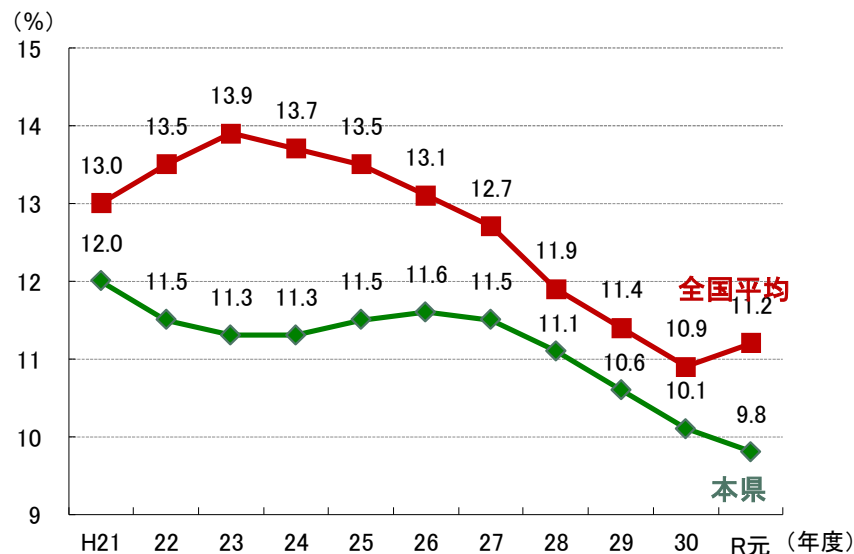
※2 全国順位は本県集計による速報値

財政指標：全国平均との比較①



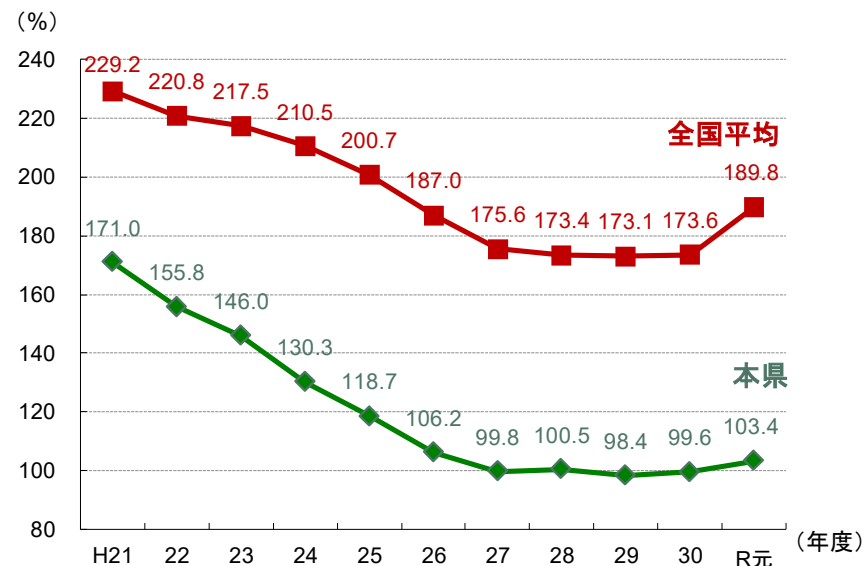
実質公債費比率

- 平成18(2006)年度から大きく改善しており、全国平均を下回る水準を維持



将来負担比率

- 平成21(2009)年度から減少傾向が続いており、全国平均を大きく下回る水準を維持



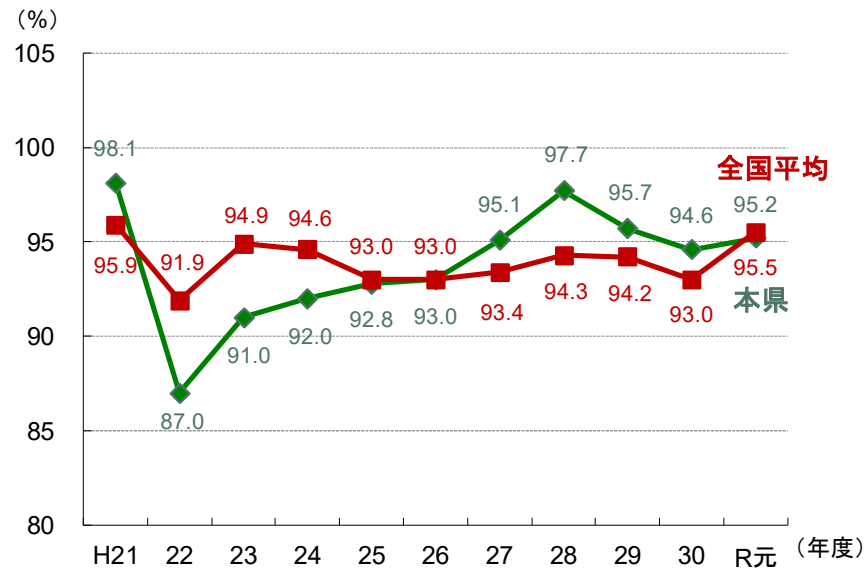
※ いずれも総務省公表資料(H30年度は速報ベース)

財政指標：全国平均との比較②



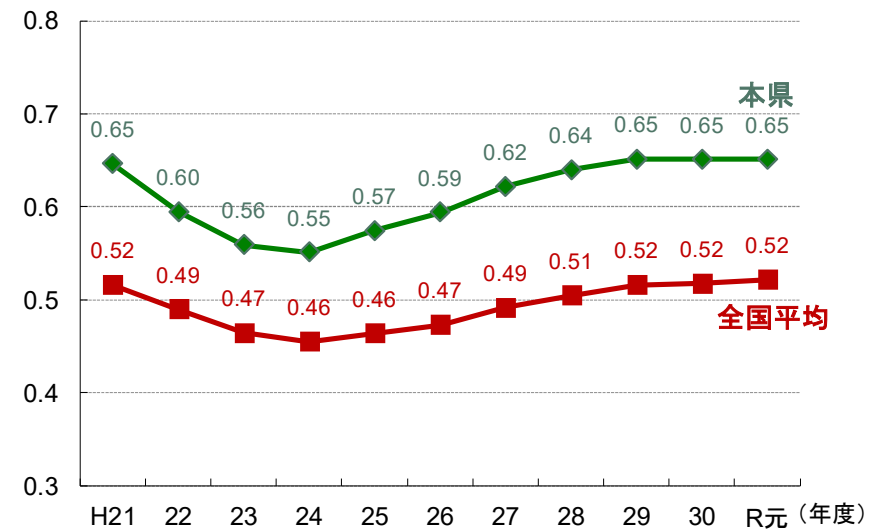
経常収支比率

- 平成30(2018)年度に比べ0.6ポイント悪化したものの全国平均を下回る



財政力指数

- 平成24(2012)年度から増加傾向にあり、全国平均を上回る水準で推移



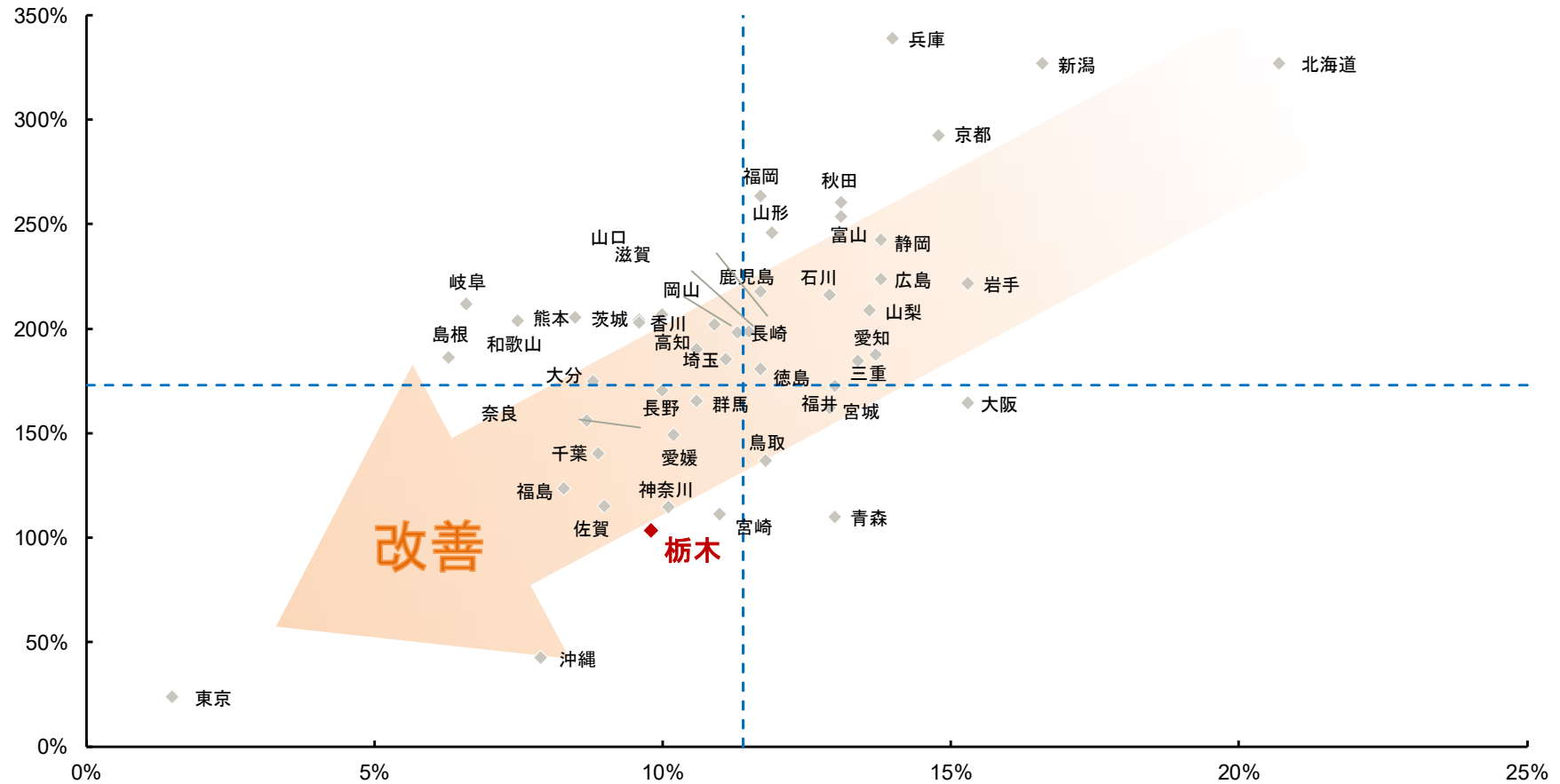
※ 総務省公表資料(R元年度は本県集計による速報値)

他都道府県との比較(令和元(2019)年度決算)



他都道府県との比較の中でも顕著な健全性

(将来負担比率)



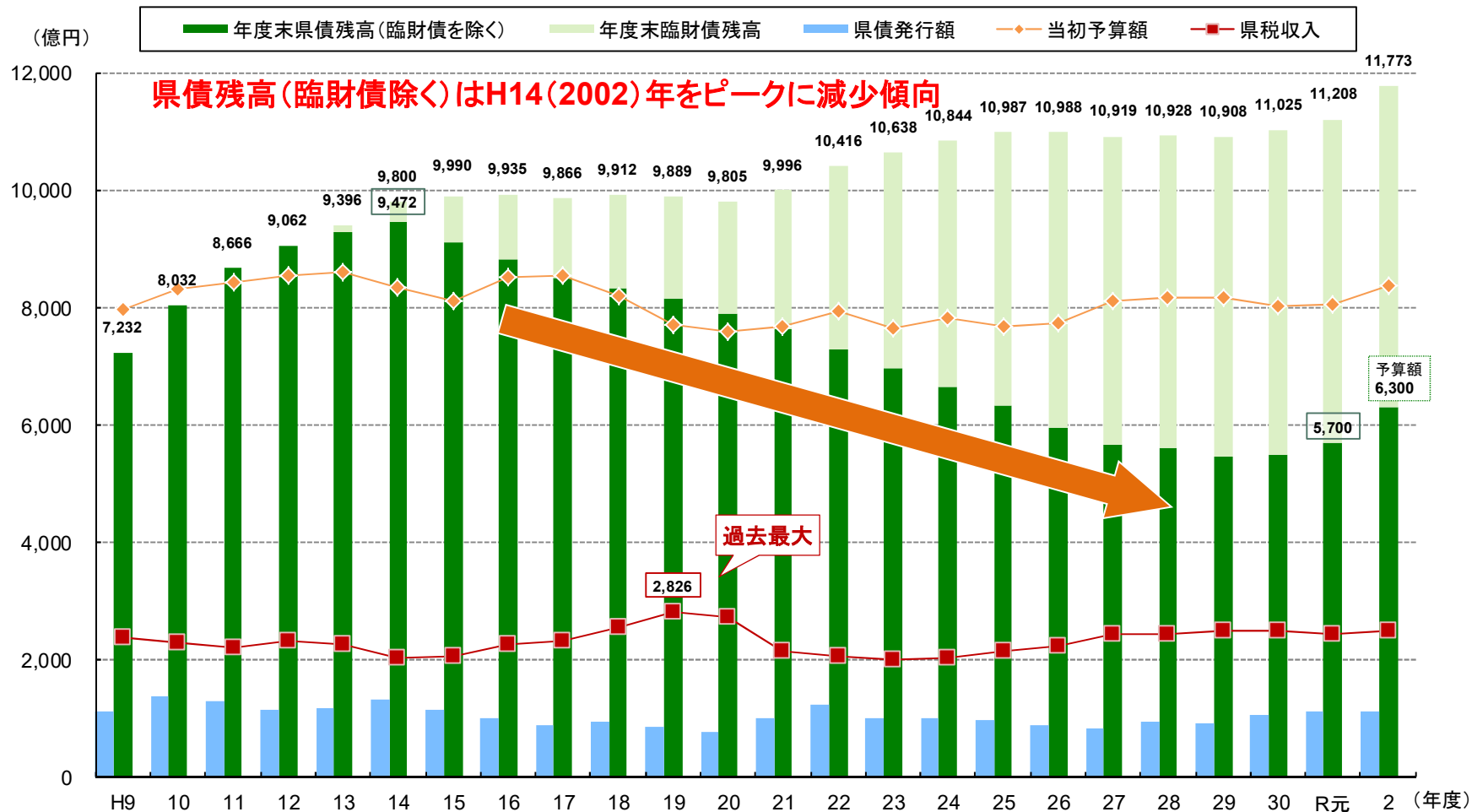
※ 本県集計による速報値

(実質公債費比率)

県債残高の推移(一般会計)



県債残高(臨財債除く)は着実に減少



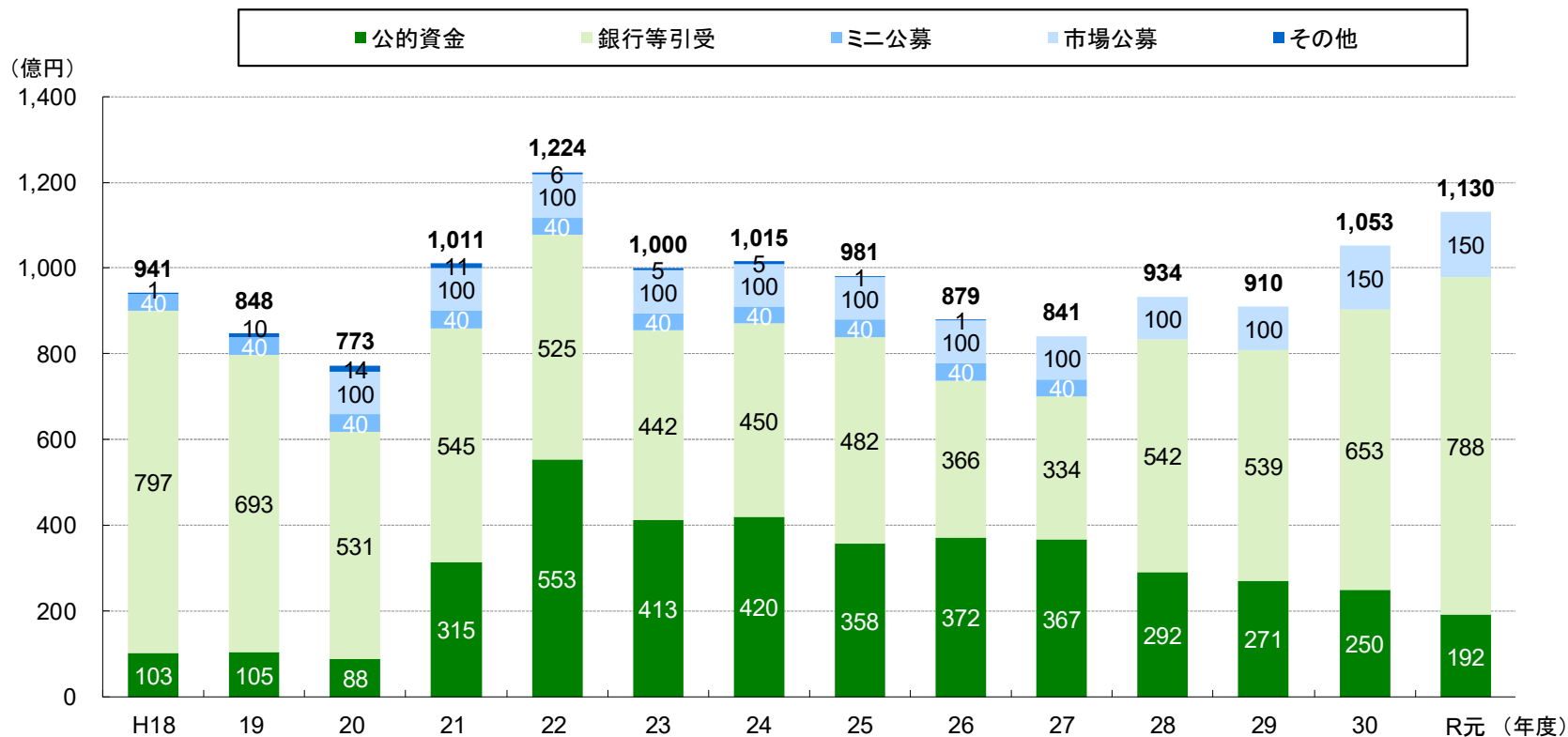
※県債残高、県債発行額及び県税収入については、R元(2019)年度までは決算額、R2(2020)年度は当初予算額。

県債の借入先推移(一般会計)



借入先の推移: 資金調達手法の多様化

- 平成20(2008)年度から全国型市場公募地方債(シ団方式)を発行(資金調達手法の多様化)
- 平成30(2018)年度からは、主幹事方式による全国型市場公募地方債も発行
- 平成22(2010)年度をピークに、公的資金は減少傾向

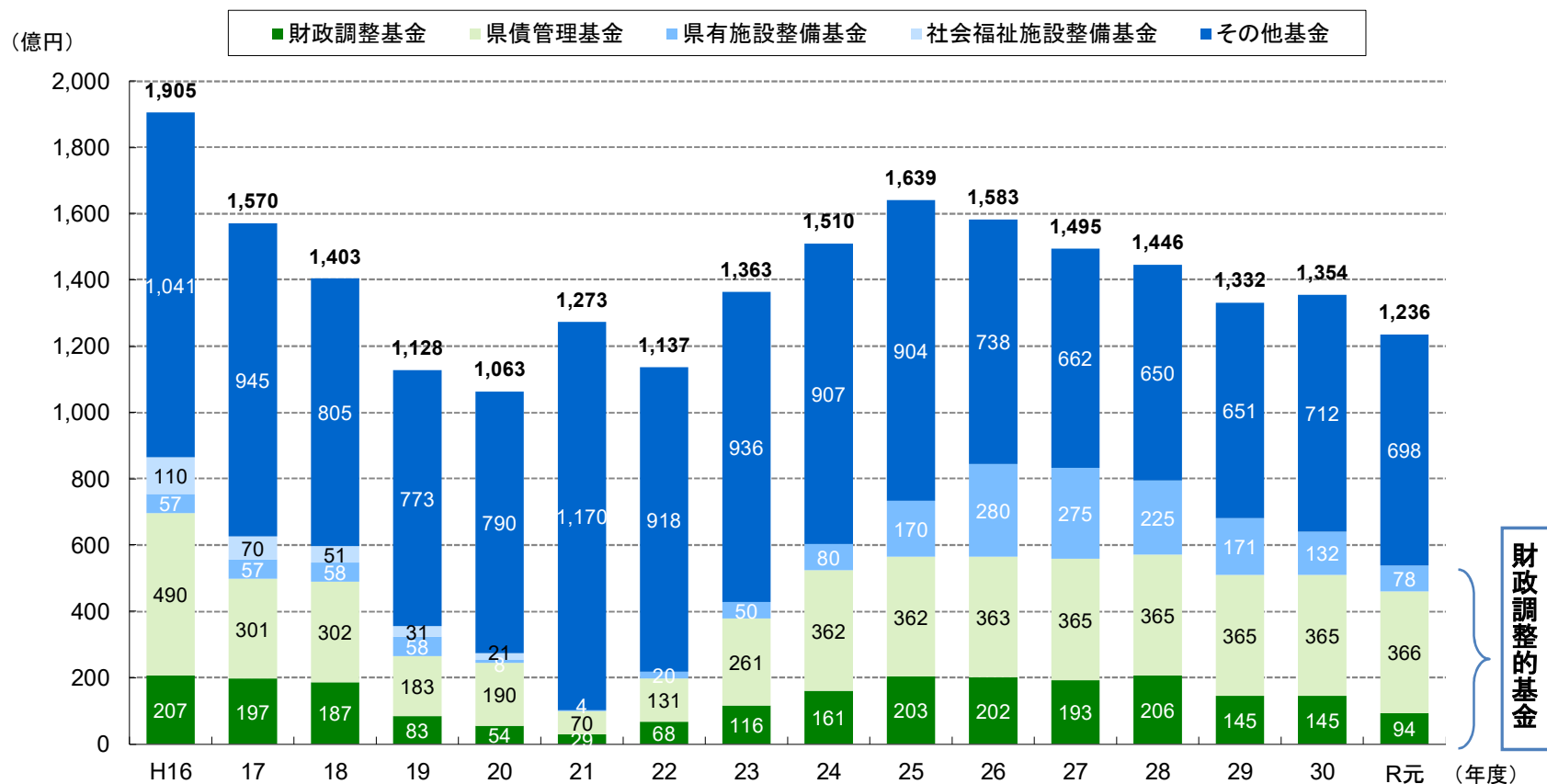


基金残高の推移



基金への着実な積立てを実施

- 財政調整基金的の令和元(2019)年度末残高は537億円となり、5年連続で減少
- 「とちぎ行革プラン2016」に基づき、「歳入の確保」や「行政コストの削減」等の取組を推進し、基金を涵養



※ 決算ベース

※ 満期一括償還に要する経費は、別途積立(県債管理基金)

格付けの取得



格付は、R&Iより毎年度【AA+】を取得

今後も財政健全化に向けた取組を推進し、HP等を通じて県財政に関する情報を積極的に公表していく計画

格付機関	株式会社格付投資情報センター(R&I)
格付	AA+ (安定的)
格付理由	<ul style="list-style-type: none">● 交通の便に恵まれ、国内を代表する有力企業の工場群が立地する全国有数の「ものづくり県」であり、経済基盤が強い。● 農業・酪農も盛んであるほか、世界遺産の日光の社寺等の観光資源にも恵まれている。行財政改革や企業誘致の面でも実績を上げている。● 「とちぎ行革プラン2016[栃木県行財政改革大綱(第6期)]」に基づき、行政コストの削減や歳入の確保など財政健全化の取組を継続し、強固な行財政基盤の確立を図る方針である。● 臨時財政対策債を除いた県債残高は着実に減少している。県民一人当たりや標準財政規模対比でみた債務負担は、都道府県の中では屈指の良好な水準にある。

市場公募地方債の起債実績・発行計画



市場公募債 起債実績(過去2年)

年限	20年 (定時償還)	10年 (満期一括)	20年 (定時償還)	10年 (満期一括)
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円
表面利率	0.421%	0.264%	0.140%	0.090%
条件決定日	平成30(2018)年 10月12日	平成30(2018)年 11月7日	令和元(2019)年 10月11日	令和元(2019)年 11月12日
発行方式	主幹事方式	シ団方式	主幹事方式	シ団方式

令和2(2020)年度市場公募債 発行計画

年限	20年 (定時償還)	10年 (満期一括)
発行額	100億円	100億円
条件決定日	令和2(2020)年10月予定	令和2(2020)年11月予定
発行時期	令和2(2020)年10月予定	令和2(2020)年11月予定
発行方式	主幹事方式	シ団方式

一昨年度・昨年度に続き、今年度も10月に20年定時償還債を発行予定

お問い合わせ先



栃木県 経営管理部 財政課 担当: 大出

住所: 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

TEL: 028-623-2024

FAX: 028-623-2030

E-mail: zaisei@pref.tochigi.lg.jp

URL: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

- 本資料は、栃木県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等を説明するための資料であり、特定の債券の売り出し、又は、募集を意図するものではありません。
- また、本資料及び本日ご説明いたしました将来の見通し、予測は、本県として、現時点で妥当と考えられる範囲で示したものであり、確実な実現をお約束するものではありません。